

国立劇場で、
日本の伝統音楽を
家族で
お楽しみください

子供向けのプログラムです

家族で楽しむ 邦楽演奏会

1
邦楽に取り組む
子どもたち
みんな邦楽を
楽しんでいるよ！
わらべ小唄
三曲
「演奏会」

2
和楽器の解説
ちょっと
不思議な
形と音色だよ！
「胡弓」
「琵琶」

3
和楽器演奏
ふだん聴けない
珍しい楽器の曲を
楽しもう！
尺八「鶴門」
胡弓「かくもん」
琵琶「朝猿」

令和5年3月25日(土)
国立劇場小劇場
開場10時30分/開演11時(終演12時20分予定)
14時から大人向けの第二部、第三部が始まります。

入場料●子ども、付添保護者とも1,000円(税込)◎全席自由

前売り券●2023年1月25日(水)より販売開始

申込先●邦楽実演家団体連絡会議(長唄協会内)
電話:03-6279-4749(平日10時~17時)
メール:hougaku@nagauta.or.jp
メールには「第一部希望」、チケット枚数、住所(含む郵便番号)、
氏名、電話番号を記載してお申し込みください。後日チケットを郵送いたします。

インターネット販売●イープラス <http://eplus.jp/>
窓口販売●国立劇場チケットセンター(窓口販売のみ)
当日券は当日10時30分より会場窓口にて発売いたします。
※出演各団体並びに出演者からもお求めいただけます。
※当日券もございますができるだけ事前にお求めください。

【主催】邦楽実演家団体連絡会議
構成団体 (一社)義太夫協会/清元協会/(一財)古曲会/新内協会/特定非営利活動法人 筑前琵琶連合会/常磐津協会
(一社)長唄協会/(公社)日本小唄連盟/(公社)日本三曲協会/日本琵琶楽協会 ほか
【助成】東京都・(公財)東京都歴史文化財団(都民芸術フェスティバル主催) 【後援】公益財団法人日本伝統文化振興財団

家族で楽しむ 邦楽演奏会

10時30分開場 / 11時開演 [終演12時20分予定]

令和5年3月25日(土) 国立劇場小劇場

◆邦楽に取り組む子供達の演奏をお聞かせください！

小学生を対象にした調査によると習い事をしている子供は、30年程前は4割程度だったのが現在は8割にもなっています。低学年では水泳、高学年では塾が人気だそうですが、それに通信教育、英語・英会話と続きます。次に音楽教室が続きますが残念ながら邦楽の稽古を行っている子供は年々減ってきている模様です。この様な中で、今回は「わらべ小唄」と「お箏・尺八」の稽古を行っている子供達が出演し、日頃の成果をお聞かせします。子供の時の経験は大人になっても様々な形で生きてくるものと思いますが、まずは舞台上楽しく邦楽に取り組んでいる姿をご覧ください。

◆今回の和楽器解説は「胡弓」と「琵琶」です。

「胡弓」は単独で、または主に「お箏」「三味線」「尺八」との合奏で活躍します。また北陸や関西地方では民謡の伴奏にも使用されています。和楽器では珍しく弓で弦を弾いて独特の音を奏でます。

「琵琶」はとても歴史が古く、正倉院の国宝「螺鈿紫檀五絃琵琶」は細工がとてみきらびやかで広く知られています。古くは雅楽で使用されて現在でも演奏される楽琵琶、勇壮な薩摩琵琶、繊細な筑前琵琶などの種類があり、またごく少数の演奏者しかいない平家琵琶など珍しい琵琶もあります。

◆実演は胡弓と尺八の合奏曲「鶴門」と、狂言などで演じられる「靉猿」をスライド付で琵琶で演じます。普段なかなか鑑賞する機会のないジャンルの実演をご家族の皆さんでお楽しみください。

◆邦楽に取り組む子どもたち

◆わらべ小唄
「蝶々とんぼ」「ぺんぺん草」
「笹の子」「弥生よいよい」
唄
栃内一慶(6歳)
鈴木朝陽(6歳)
布澤翠(8歳)
浅川結香(8歳)
綿谷諒(11歳)
藤華史実
藤史実、藤実紗

◆三曲「六段の調」

箏・三味線・尺八
高橋麗子(高1)
徳丸めぐの(中2)
横田堇(中2)
中山晶恵(中2)
今村梨花子(中1)
牧瀬里緒(小6)
竹下明里(小5)
村上椿(小5)
榮前田日向子(小5)
山田あさひ(小4)
伊藤沙羅(中3)
澤田旺太郎(小6)

尺八

◆和楽器解説

◆胡弓

◆琵琶

◆和楽器演奏

◆胡弓「靉猿」

長塚 梨秋
川瀬 庸輔

◆琵琶「靉猿」
桜木 亜木子

午後2時から小劇場では大人向けの第二部、第三部が始まります。

国立劇場小劇場

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1

地下鉄●半蔵門線(半蔵門駅)6番出口(エスカレーター・エレベーターあり)
1番出口徒歩5分

●有楽町線・半蔵門線・南北線(永田町駅)4番出口徒歩8分
2番出口徒歩10分

都バス●都03(晴海埠頭～四ツ谷駅前)三宅坂徒歩1分

●宿75(新宿駅西口～河田町～四谷駅前～三宅坂)三宅坂徒歩1分
駐車場完備

